

平成26年度自転車関連実施事業

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け					平成26年度に実施した事業				
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
通勤	通行空間	通勤目的の自転車ネットワーク路線の整備	行政警察	○	○	自転車通行空間の整備 【資料2-1参照】	道路空間の再配分などにより、自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進する。 26年度においては、具体的な整備方法やスケジュールについての「自転車ネットワーク整備計画」を策定し、高洲町地内ほかにおいて路面のカラー標示工事を実施した。(工事延長500m)。	自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進する。	豊橋市(道路建設課)
	駐輪	交通結節点における駐輪場整備	行政交通事業者	○	○	豊橋市自転車等駐車場の管理・運営	豊橋市自転車等駐車場(豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口)を適正に管理・運営する。	指定管理者による発券機の導入等により、利用者サービスを向上することができた。	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(蔦井株)
						二川駅南口自転車等駐車場東エリア整備事業	二川駅南口駅前広場の南側路上に、自転車駐車場(24時間)を新たに整備・運営した。	平成27年2月供用開始され、徐々に利用者が増えている。	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(蔦井株)
						豊橋市無料自転車置場の維持管理	豊橋市内6ヶ所の無料自転車置場(城海津跨線橋北、狭間公園南、JR飯田線下地駅前、豊橋鉄道渥美線柳生橋駅前、JR飯田線船町駅前、立花町牟呂用水沿線路上)の維持管理を行う。	無料駐輪場の自転車等が乱雑にならないように努めた。	豊橋市(土木管理課) (公社)豊橋市シルバー人材センター
						豊橋駅東口自動二輪車駐車場整備運営事業	城海津跨線橋北無料駐輪場の一部を自動二輪車駐車場として整備・運営する。	豊橋駅周辺に自動二輪車の受け入れ可能な駐車場が少なく、無料駐輪場に自動二輪車を違法に駐車する状況があったが、解消された。	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(蔦井株)
						井原駐輪場整備	豊橋鉄道市内線井原電停付近に駐輪場(52台)を設置し、路面電車との乗り継ぎを便利にすることにより、自転車利用環境の向上を図った。	利用状況は好調であり、周辺の放置自転車の減少も見られた。	豊橋市(都市交通課) 豊橋鉄道株
	安全教育	企業を通じた交通安全教室の実施	行政企業	○	○				
	意識啓発	企業向け自転車通勤促進セミナーの開催	行政企業	○	○	とよはし自転車通勤促進セミナー 【資料2-2参照】	市内の事業所に対し、自転車政策に精通する学識者の講演及びエコ通勤の奨励について先進的な取り組みを行っている企業からの事例紹介等を行うことで、自転車通勤を促進させることを目的に開催した。また、自転車通勤に対する企業ニーズ等を把握するためのアンケート調査を併せて実施した。	参加事業所15社に対し、自転車通勤のメリット等の周知を図ることが出来た。 (15社の総従業員数7,000人以上)	豊橋市(都市交通課) 豊橋商工会議所
		健康増進のための自転車活用推進	行政企業	○	○				
		サイクル&ライドの推進	行政企業交通事業者	○	○	公共交通マップの作成	公共交通の利用促進に向けた取り組みの一環として、豊橋市内の公共交通に関する情報を記載したマップを作成し、その中にサイクル&ライドが可能な駐輪場を標記した。	市民にサイクル&ライドが可能な駐輪場の位置を周知することができ、自転車利用の推進が図れた。	豊橋市(都市交通課)
支援・補助	企業における自転車通勤環境の改善	行政企業		○	電動アシスト自転車購入補助	電動アシスト自転車の購入に対して補助金を交付し、自動車利用から自転車利用への切り替えを促進することで、市民意識の向上及び温室効果ガスの排出抑制を図り、地球温暖化対策の推進に寄与することを目的とする。	電動アシスト自転車について561台の購入補助を実施し、近距離移動などに活用してもらうことで市民意識の向上、温室効果ガスの排出抑制を図った。	豊橋市(温暖化対策推進室)	

					<p>環境マネジメントシステム推進事業 (豊橋市職員対象)</p> <p>豊橋市エコアクションプラン(第4次)の推進にあたり、とよはしエコマネジメントシステム(T-EMS)を活用しており、エコ通勤の実施日数を平成25年度比1%以上増加するという目標を掲げている。豊橋市役所職員の研修等を通して、エコ通勤(自転車や公共交通機関などによる通勤)を推進している。</p>	<p>平成25年度比4.7%増加した。</p>	<p>豊橋市(環境政策課)</p>
				<p>とよはしエコ通勤運動 (豊橋市職員対象)</p> <p>【通勤手当の加算】通勤距離区分が2km以上8km未満で自転車通勤の場合に、通勤手当の加算を行った。</p> <p>【eco2kin報奨制度】エコ通勤実践者(通勤方法が徒歩、公共交通機関、自転車(距離区分2km以上8km未満の者を除く)、同乗の者)にクオカードを支給。</p> <p>【通勤用自転車購入補助制度】通勤用自転車の購入者に購入費用を補助。</p>	<p>【通勤手当の加算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車通勤者の増加 <p>【eco2kin報奨制度支給者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・550人 <p>【通勤用自転車購入補助制度補助実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通自転車 54人 ・電動自転車 5人 	<p>豊橋市(人事課) 豊橋市職員互助会</p>	

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け					平成26年度に実施した事業				
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
通学	通行空間	通学ルートにおける危険箇所の解消	行政警察	○	○				
	駐輪	交通結節点における駐輪場整備（再掲）	行政交通事業者	○	○	豊橋市自転車等駐車場の管理・運営（再掲）	豊橋市自転車等駐車場（豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口）を適正に管理・運営する。	指定管理者による発券機の導入等により、利用者サービスを向上することができた。	豊橋市（土木管理課）
						二川駅南口自転車等駐車場東エリア整備事業（再掲）	二川駅南口駅前広場の南側路上に、自転車駐車場（24時間）を新たに整備・運営する。	平成27年2月供用開始され、徐々に利用者が増えている。	豊橋市（土木管理課） 指定管理者（蔦井株）
						豊橋市無料自転車置場の維持管理（再掲）	豊橋市内6ヶ所の無料自転車置場（城海津跨線橋北、狭間公園南、JR飯田線下地駅前、豊橋鉄道渥美線柳生橋駅前、JR飯田線船町駅前、立花町牟呂用水沿線路上）の維持管理を行う。	無料駐輪場の自転車等が乱雑にならないように努めた。	豊橋市（土木管理課） （公社）豊橋市シルバー人材センター
						井原駐輪場整備（再掲）	豊橋鉄道市内線井原電停付近に駐輪場（52台）を設置し、路面電車との乗り継ぎを便利にすることにより、自転車利用環境の向上を図った。	利用状況は好調であり、周辺の放置自転車の減少も見られた。	豊橋市（都市交通課） 豊橋鉄道株
	安全教育	自転車免許制度等の新たな安全教育手法の導入	行政警察学校	○	○	自転車安全安心モデル校の指定	自転車を利用する機会の多い小学生、中学生及び高校生を対象として、自転車の交通ルール・マナーの周知徹底を通じた交通安全意識の向上や、自転車盗難防止のための防犯意識の向上を目的とした自転車教室の開催などの安全教育を実施した。 （杉山小学校、章南中学校、県立豊橋工業高校）	市内小中学校を1校ずつモデル校を対象に、年間を通して実施していくことで、児童生徒の安全に対する意識が継続し、児童生徒が交通安全を主体的に考え、行動していく態度を育成することにつながっている。	豊橋警察署 豊橋市（学校教育課） 豊橋市（安全生活課）
						自転車安全指導巡回教室（低学年・高学年）	自転車の安全な乗り方と基本的な交通ルールを身につけさせることにより、交通事故防止を図った。	平成25年におけるこども（6～12歳）の交通事故負傷者数は134人であったが、平成26年は125人となったことから、交通安全意識の向上を図ることができた。	豊橋警察署 豊橋市（学校教育課） 豊橋市（安全生活課）
						高校生自転車運転免許教室 【資料2-3参照】	高校生のうち新入学生を対象に自動車学校にて自転車の安全な乗り方について試験（筆記、実技）を行い、合格者に対して自転車運転免許証を交付した。	実施校（豊橋工業高校）における平成25年度の1年生の自転車の交通事故は9件であったが、平成26年度は5件となったことから高校生の自転車安全利用意識の向上が見られた。	豊橋警察署 豊橋市（安全生活課） 豊橋市交通安全都市推進協議会 愛知県立豊橋工業高等学校 ユタカ自動車学校
	意識啓発	自転車利用のメリットの教育	行政学校	○	○				
		サイクル&ライドの推進（再掲）	行政企業交通事業者	○	○	公共交通マップの作成（再掲）	公共交通の利用促進に向けた取り組みの一環として、豊橋市内の公共交通に関する情報を記載したマップを作成し、その中にサイクル&ライドが可能な駐輪場を標記した。	市民にサイクル&ライドが可能な駐輪場の位置を周知することができ、自転車利用の推進が図れた。	豊橋市（都市交通課）

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け					平成26年度に実施した事業				
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
買物	通行空間	買物目的の自転車通行空間の整備	行政警察		○				
	駐輪	まちなかにおける駐輪環境の向上	行政企業民間団体	○	○	豊橋市自転車等駐車場の管理・運営（再掲）	豊橋市自転車等駐車場（豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口）を適正に管理・運営する。	指定管理者による発券機の導入等により、利用者サービスを向上することができた。	豊橋市（土木管理課）
						まちなか駐輪環境向上検討会議の開催	まちなかの駐輪環境向上のため、ワーキンググループによる具体的な取組等の検討を行った。	平成26年度はワーキングを4回開催し、まちなかの駐輪環境向上のための基本方針及び必要となる事業の抽出を行った。	豊橋市（まちなか活性課） 豊橋市（土木管理課） 豊橋市（都市計画課） 豊橋市（都市交通課）
	安全教育	自転車の貸付及び補助と併せた安全教育実施	行政	○	○	自転車安全利用の教育	保育課が行う三人乗り自転車を貸出しする際に、自転車安全利用の講習をうけてもらい、交通安全を呼び掛けた。	平成26年度は79名が受講し、自転車安全利用の啓発を図ることができた。	豊橋市（安全生活課） 豊橋市（保育課）
	支援・補助	自転車普及のための貸付及び購入補助	行政	○	○	電動アシスト自転車購入補助（再掲）	電動アシスト自転車の購入に対して補助金を交付し、自動車利用から自転車利用への切り替えを促進することで、市民意識の向上及び温室効果ガスの排出抑制を図り、地球温暖化対策の推進に寄与することを目的とする。	電動アシスト自転車について561台の購入補助を実施し、近距離移動などに活用してもらうことで市民意識の向上、温室効果ガスの排出抑制を図った。	豊橋市（温暖化対策推進室）
三人乗り自転車貸出事業						子育て家庭の支援の一環として、満1歳以上4歳未満及び満2歳以上6歳未満の子を2人以上養育しており、豊橋市内に居住している家庭を対象に、3人乗り自転車を貸出しを行った。 電動アシスト付自転車85台 利用料金1,000円/月	三人乗り自転車の貸出を希望する保護者に対して、延べ112台を貸し出し、子育て支援及び三人乗り自転車の普及啓発をすることができた。	豊橋市（保育課）	

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け					平成26年度に実施した事業				
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
共通	通行空間	自転車ネットワークの構築	行政警察	○	○	自転車通行空間の整備(再掲)	道路空間の再配分などにより、自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進する。26年度においては、具体的な整備方法やスケジュールについての「自転車ネットワーク整備計画」を策定し、高洲町地内ほかにおいて路面のカラー標示工事を実施した。(工事延長500m)。	自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進する。	豊橋市(道路建設課)
	利用環境	自転車利用環境向上のためのスポットづくり	行政 企業 民間団体		○	自転車安全安心アドバイザーとの連携推進	自転車販売店との連携を図り、自転車の販売・修理等の機会を捉えた自転車事故防止啓発活動への働き掛けと必要な支援を実施した。	自転車販売店は市民の身近にあるため、今後も連携活動を継続していく。	豊橋警察署 愛知県自転車モーター商協同組合豊橋支部
	安全教育	対象・課題に応じた安全教育の実施	行政 警察 学校 企業 民間団体	○	○	交通児童館事業	自転車乗り方教室などの行事を開催するとともに、遊びを取り入れながら交通ルールを学ぶ教室を開催し、児童の健全育成を図った。	利用者を中心に交通ルールを学ぶ機会を提供し、児童の健全育成を推進できた。	豊橋市(こども未来館)
						放置自転車対策	「豊橋市自転車等の放置の防止に関する条例」に基づき、道路上の自転車等の放置の防止に関し必要な施策に取り組む。生徒・学生に対して、学校を通じ広報やパンフレットの配布を行った。	土日・祝日の指導・啓発・撤去活動が2年目を迎え、徐々に浸透しており、放置自転車の減少につながった。	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(蔦井株) 放置自転車リサイクル事業取扱者
						自転車指導啓発重点地区・路線における指導取締活動の推進	重点の指定は1路線、2地区(路線:県道豊橋環状線(上立会橋南~東田坂上)、地区:豊橋駅前地区、豊橋公園周辺地区)あり、交通違反者に対する指導取締活動を推進して、自転車事故の防止を図る。	豊橋公園周辺地区においては、平成25年中10件の自転車事故が発生したが、平成26年中は3件と7件の減少であった。他地区・路線は横ばいであった。	豊橋警察署
						自転車の交通法令周知に向けた広報啓発活動の推進	平成25年12月1日に施行された道路交通法の一部改正の内容、及び「自転車安全利用五則」など自転車の基本的な交通法令の周知を企業における交通講話、老人クラブを対象とした自転車教室、街頭キャンペーン等を通じて実施した。	取締活動と広報啓発活動を連動させ、今後も継続していく。	豊橋警察署 交通安全協会豊橋支部
	意識啓発	自転車保険のPR	行政 警察 学校	○	○				
		利用目的に応じたメリットの周知	行政 学校 企業 民間団体	○	○	カーフリーデー・モビリティウィーク	都市交通を切り口とした都市環境の改善や賑わいのあるまちづくりを目的とし、自転車や公共交通、徒歩を用いたイベントを行うことによって、「かしこい車の使い方」を市民と行政と一緒に考える取組を行った。	自転車や公共交通等の利用促進を目的とした、多種にわたるイベントを通じて「かしこい車の使い方」を周知することができたと共に、自転車シミュレータを用いた安全講習により、交通安全の意識啓発が行えた。 カーフリーデー参加者1,300人 自転車シミュレータ体験者250人	豊橋市(都市交通課) 豊橋市(安全生活課) 中部運輸支局愛知運輸支局 愛知県 豊橋鉄道株 豊鉄バス株 東海交通株 とよはし市電を愛する会

	自転車マップ等の作成	行政 学校 企業 民間団体		○				
レジャー	サイクリング・ポタリングコース等の設定	行政 民間団体		○	サイクルトレイン	特定日を除いた土休日に限り、1台当たり100円の料金をで渥美線車内の指定エリアに自転車をそのまま持ち込み可能。	本年度実績 3,299 台（昨年度 2,888 台前年比 114.2%）と一定の需要があった。 乗車ベスト3（三河田原 869 台、新豊橋 741 台、大清水 413 台） 降車ベスト3（新豊橋 869 台、三河田原 671 台、大清水 462 台）	豊橋鉄道(株)
	自転車イベントの開催	行政 民間団体	○	○	市民スポーツ祭'2014【自転車】及び平成26年度豊橋自転車競技大会（同時開催）	市民スポーツ祭においては、市民を対象に競輪場のトラックでのタイムトライアルを行う。小学生の部から60歳以上のシルバーの部まで7つの部門で競い合う。普段走ることのない競輪場のトラックでの競技を経験して自転車競技の楽しさに触れてもらう。 また、豊橋自転車競技大会においては、昭和31年から毎年開催しており、アマチュアの自転車愛好者にピスト競技の楽しさ、面白さなどを体験していただくとともに自転車競技の啓蒙普及を図っている。競技種目により豊橋市長賞、市議会議長賞、体育協会理事長賞が贈られている。	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	豊橋自転車競技協会 豊橋市 豊橋市教育委員会 豊橋体育協会 日本自転車競技会中 日本地区 日本競輪選手会愛知 支部
					第8回とよはしとよねサイクルマラソン	豊橋～豊根村間のサイクリング大会。豊橋⇄豊根の往復約160kmのコース及び豊橋⇄豊根、豊根⇄豊橋の片道約80kmのコースの3コースあり、制限時間は往復9時間、片道6時間で完走を目指すもの。競走ではなく交通ルールを守ってのツーリングを楽しみ、ロードでの安全な走行を目的としている。（台風のため中止）	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	とよはしとよねサイ クルマラソン実行委 員会 豊根村 新豊根ダム水源地域 ビジョン推進協議会 大入の里 豊橋市体育協会
					第11回豊橋万場クリテリウムロードレース大会	愛知県対自転車競技大会の10周年を記念し第1回が企画され11年目を迎える。万場調整池の管理用通路を周回コースとしてロードレースを開催した。クリテリウムとは一般交通から遮断された周回コースである。種目は4時間エンデューロと個人ロードレース、チームタイムトライアルがありそれぞれに部門が分かれている。未就学児から実業団選手まで幅広い年代が自転車競技を楽しめる大会である。	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	豊橋自転車競技協会 豊橋市 豊橋市教育委員会 豊橋市体育協会 独立行政法人水資源 機構
第32回とよはし・チーム・ピスト大会	高校・大学の自転車競技部を除く町のレーシングチームを対象に、スプリント、ケイリン、速度競走、エリミネーション等のトラック競技を行いチームでの総合得点を競い合う。アマチュアのトラック競技の大会が少なく遠方からの参加者も多い。	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	豊橋自転車競技協会 豊橋市体育協会 愛知県自転車競技連 盟 日本競輪選手会愛知 支部					

					第2回ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバル	豊橋動植物公園にて第2回ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバルを行った。	ロードレース（8種）、エンデューロ（2種）、ランバイクの各レースに360名が参加。来場者数1600名、出店数38団体。動物園でのレースイベントは他に例がなく自転車関連メーカー、ショップからも好評だった。子どもから大人まで幅広い層の市民がスポーツ自転車に親しみきっかけになることが期待できる。	ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバル実行委員会
					530のまち環境フェスタにおけるリサイクル自転車抽選会	市民から大きなごみとして出された自転車を、職員が再び使えるように修繕し、イベントの中で展示・抽選（無料）を行った。リサイクル自転車を福祉団体へ寄贈した。	抽選による配布台数は、40台 寄贈15台 リサイクル自転車抽選会は、人気もありこのイベントのメインのひとつとして開催している。また、当選者には、自転車の防犯登録を行うようお願いしている。	豊橋市（環境政策課） 豊橋市（業務課）
					競輪開催事業	自転車競技法に基づき、普通競輪11開催48日、記念競輪1開催4日の年間12開催52日を行い、収益を得る。	記念競輪で2年ぶりに60億円以上の売上を確保したことに加え、ジャパンカップでは多くの協力場外場を得ることができ、予算を大幅に上回る約20億円の売上を確保することができた。また、減少傾向にあった場外収入も積極的に発売を実施することにより、前年度比で約3%の増加を達成することができた。それらの結果、単年度収支で前年度比83%増の2億8千万円を確保することが出来た。	豊橋市（競輪事務所） JKA 日本競輪選手会 全国競輪施行者協議会
					バンクにおいDay	豊橋競輪場において、バンク走行体験、キックバイク体験、面白自転車体験、縁日、サイクルタイムトライアル、自転車なんでも相談コーナー・ローラーフォームチェック、地元競輪選手パフォーマンス等を行った。	バンク走行体験：参加人数50名 キックバイク体験：参加人数15名の参加があり、自転車に親しみきっかけとすることができた。	豊橋市（競輪事務所） 日本トーター(株) 日本競輪選手会愛知支部 JKA